



第90期 中間期株主通信

2013年1月1日から2013年6月30日まで

サッポロホールディングス株式会社



SAPPORO



新たな付加価値の 創造に向かって

2013年度の中間決算は、国内酒類事業におけるビールの堅調な動きや、国際事業における北米やベトナムでの好調な販売などが寄与し、2003年にホールディングス体制となって以来、最高の売上を達成し、増収増益という結果となりました。

しかしながら、確実に経営計画を達成するためには、取り組むべき課題がいくつも存在しており、決してこの結果に満足することはありません。

グループを挙げてなお一層の経営努力を続けてまいりますので、株主の皆様には、引き続きご支援を賜りたくお願い申し上げます。



代表取締役社長 兼 グループ CEO

上條 賢

- 01 | ごあいさつ
- 02 | 新経営体制のご紹介
- 03 | 対談：国内の成長戦略について

- 06 | 株主コミュニケーション
- 09 | サッポログループ トピックス
- 12 | サッポログループ 地域とともに

- 14 | 事業の概況
- 15 | 連結決算概要
- 17 | 会社情報／株主情報

サッポロホールディングスの新しい経営陣をご紹介します。

新役員一同、一丸となって事業活動に邁進する所存ですので、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
兼 グループCEO
上條 努

生年月日：昭和29年1月6日



常務取締役
田中 秀典

生年月日：昭和30年4月16日



常務取締役
兼 グループ執行役員
持田 佳行
サッポロインターナショナル
株式会社 代表取締役社長

生年月日：昭和26年1月17日



取締役
兼 グループ執行役員
加藤 容一
サッポロ不動産開発株式会社
代表取締役社長

生年月日：昭和29年7月21日



取締役
森本 達二

生年月日：昭和34年12月10日



取締役
兼 グループ執行役員 **【新任】**
尾賀 真城
サッポロビール株式会社
代表取締役社長

生年月日：昭和33年12月2日



取締役
兼 グループ執行役員 **【新任】**
堀 雅寿
ポッカサッポロフード&ビバレッジ
株式会社 代表取締役社長

生年月日：昭和28年10月14日



取締役（社外）
田中 宏
株式会社フレハ 相談役

生年月日：昭和16年9月23日



取締役（社外）
服部 重彦
株式会社島津製作所 代表取締役会長、
田辺三菱製薬株式会社 社外取締役、
ブラザー工業株式会社 社外取締役、
明治安田生命保険相互会社 社外取締役

生年月日：昭和16年8月21日



取締役（社外）
池田 輝彦
花王株式会社 社外取締役、
株式会社エフエム東京 社外監査役

生年月日：昭和21年12月5日



常勤監査役
山田 良一

生年月日：昭和28年1月28日



監査役
飯田 啓二

生年月日：昭和29年7月20日



監査役（社外）
佐藤 順哉
生化学工業株式会社 社外監査役、
三井金属鉱業株式会社 社外取締役、
株式会社ニッキ 社外取締役

生年月日：昭和28年5月4日



監査役（社外） **【新任】**
杉江 和男
DIC 株式会社 取締役会長、
株式会社ルネサンス 取締役

生年月日：昭和20年10月5日



対
談

国内の 成長戦略について

サッポロホールディングス株式会社
代表取締役社長 兼 グループ CEO

上條 努

サッポロビール株式会社
代表取締役社長

尾賀 真城

サッポロビール社に尾賀真城新社長が就任し、新たな船出を迎えたサッポログループ。若きリーダーシップのもと、マザー事業である国内酒類事業は、いかなる成長を遂げるのか。国内の成長戦略について聞いた。

国内酒類市場の現状について

上條 現在の国内マーケットの状況と課題認識の話から始めましょうか。

尾賀 ビールの需要は、1994年をピークに減少していますが、詳しく分析してみると、伸びている分野、関心が集まる分野は必ずあります。そうしたビールに求められる期待の変化に応える商品を積極的に開発

し、小さくても No.1 を積み重ねていくことが重要だと考えています。

上條 小さくても No.1 といえば、6月に発売した、世界で初めてプリン体 0.00 (注1) を実現し、さらに糖質 0 (注2) も達成した機能系新ジャンル「サッポロ 極 ZERO」は、すでに販売目標を上方修正するなど非常に好調です (注1・注2については裏表紙をご参照ください)。

尾賀 こうした新商品の開発と合わせ、「黒ラベル」や「エビス」「麦とホップ」といった基幹ブランドをさら



に磨いていくことも重要であると考えます。ご愛飲いただいているお客様に、ブランドの素晴らしさをさらに実感していただくこと、これがビール事業での重要課題です。また、ワインや焼酎、RTD※、洋酒など商品群の多層化を進めることで、酒類市場全体の中で着実な成長を目指します。

※RTD: Ready to Drinkの略。
栓を開けてそのまま飲める低アルコール飲料の総称。

サッポロ 極ZERO (ゴクゼロ)



サッポロの強み、サッポロらしさをいかに伝えていくか

尾賀 飲食店向け商品である「エーデルピルス」や「白穂乃香」など特徴ある商品もありますが、これらの価値、美味しさをもっとお伝えしていかなければいけません。そしていかに最高の1杯を楽しんでいただくかを考え、提案するための工夫も必要です。

上條 工夫といえば、「びあけん」や「百人ビール・ラボ」「わくわくブルワリー」など、独自の取り組みには、確かな反応があり、これからが非常に楽しみです。協働契約栽培も大麦・ホップの育種・育成も、当社ならではの取り組みです。こうした姿勢を広く消費者、株主の皆様にご理解いただけるように、ビール事業だけでなく、グループの事業についての発信にも力を入れていきます。



エーデルピルス<樽生>



プレミアムホワイト
白穂乃香 (しろほのか)



サッポロの協働契約栽培

グループの視点、シナジーについて

上條 現在、グループの成長エンジンの一つとして、北米、アジア、オセアニアに注力し、成長を遂げていますが、ベースは日本市場での高いブランド評価があってこそです。いかに国内で活力をみなぎらせ海外にも反映できるか、ビール事業に対する期待は非常に大きなものです。

尾賀 グローバル化が進む時代にあって、国内におけるサッポロビールの力強さを高めていくことは極めて重要であると認識しています。また、ポッカサッポロと物流や営業、商品開発といった面でグループシナジーに成果が表れ始めていますし、新しい取り組みにどんどん挑戦していきます。

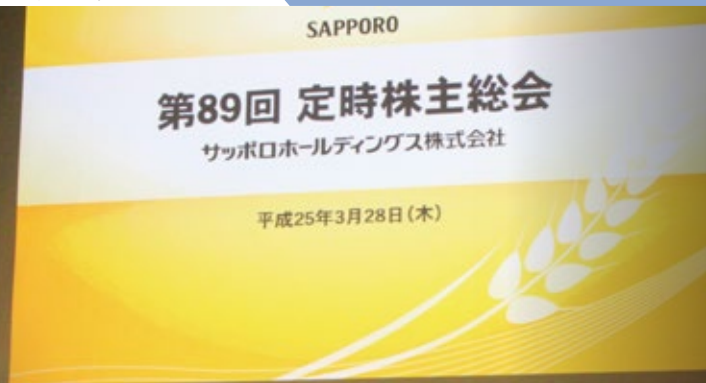
上條 チャレンジをしながら、グループを牽引する兄貴分としての範を期待しています。



株主の皆様へのメッセージ

尾賀 本来お酒は、非常に楽しいものであり、明日への活力を生み出すもの。お客様に楽しんでいただくためには、まず我々自身が楽しみ、驚きや感動、独自性のある商品を数多く提供することが重要だと考えています。そのためにも、市場、お客様のニーズの変化を捉え、将来の姿を見据えながら、商品開発から製造、販売に至るまで常に新しい方法を追求し、チャレンジしていきます。

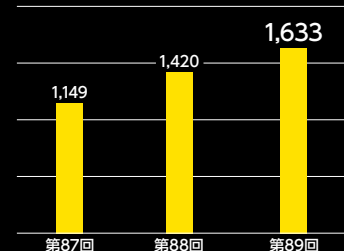
上條 尾賀社長には若い力を存分に発揮し、お客様に信頼していただける種をまき続け、サッポロのファンを広げてほしいと期待しています。また、グループ全体としても、チャレンジし、成果を出し続けることを経営の最大課題と認識し企業経営に努めてまいります。株主の皆様には今後ともご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。



株主総会の所要時間と質問者数

	所要時間	質問者
第87回 (11年)	1時間45分	8名
第88回 (12年)	1時間59分	10名
第89回 (13年)	1時間47分	14名

当日出席者数の推移 (人)



第89回定時株主総会のご報告

2013年3月28日(木)、第89回定時株主総会を開催いたしました。

ご出席いただきました株主様におかれましては、この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

質疑応答では、14名の株主様より貴重なご意見をいただきました。ここでは、その一部をご紹介します。

今後もより多くの株主の皆様にご理解をいただけるよう努めてまいります。

若手の人材育成はどのように進めているのか？

サッポログループでは、人材を人財ととらえ、「考え抜く力」「役割意識を強く持つ」「視野を広げ働き方を考える」という3つのテーマを重点に置き、さまざまな手法で若手の育成を図っています。また、グループの基本メッセージ「越境せよ!」を踏まえ、組織の枠を超えた経験を積むことで、さまざまな困難にも耐え、攻める姿勢を持った人財に育成することを目指しています。

対処すべき課題として、グループ各社のシナジー拡大とあったが、具体的にどんな形で実現させようと取り組んでいるのか？

現時点では、酒類、飲料での共同研究開発、カナダ・アメリカでの共同物流、調達物流の集約、エビスバーの店舗展開などが挙げられます。今後もグループ内横断のプロジェクトを進めていき、ビジネスチャンスを広げていきたいと考えています。

株主アンケートへの回答

株主の皆様にご回答いただいたアンケートにおいて、貴重なご意見を多

サッポロホールディングス



配当を増額して、優待を充実させてほしい。

サッポログループでは、株主の皆様への適切な利益還元を経営上の重要政策と位置づけ、安定して一定水準以上の利益を創出し現状以上の配当を出せるよう、企業価値向上に努めてまいります。

優待品の内容についても、株主様のご意見を参考にしながら常に見直しを行ってまいります。



サッポロホールディングス株式会社 取締役 森本 達二

サッポロライオン



サッポロライオンのメニューをもっと工夫してほしい。

ライオン銀座七丁目店で長年愛されてきた「ローストビーフ」を、「銀座ライオン」ブランドの看板商品として販売店舗を拡大し、大変ご好評をいただいています。また今後は店頭でアンケートを実施するなどお客様の声に耳を傾け、定番商品の見直しや新商品の開発等、よりご満足いただける料理の提供を目指してまいります。



サッポロホールディングス株式会社 グループ執行役員 株式会社サッポロライオン 代表取締役社長 刀根 義明

サッポロビール



エビスが好きです。ロブションの限定商品は通年販売しないのですか。

エビスをご評価いただきありがとうございます。2013年はエビスビール、エビス〈ザ・ブラック〉、琥珀エビスの3商品を基軸ブランドとして注力しています。ジョエル・ロブション氏と共同開発した「薫り華やぐエビス」はおかげさまで大変好評をいただきました。今後の展開についても市場動向などを踏まえ、お客様にご満足いただける商品をご提供できるよう検討してまいります。



強い新商品の開発を望みます。

2013年は、6月に世界初のプリン体0.00^(注1)、糖質0^(注2)を実現した「サッポロ 極ZERO」を発売し、大変高い評価をいただいています^(注1・注2については裏表紙をご参照ください)。

サッポロビールは、お客様に新たな感動をご提供できることを目指し、これからもお客様にとってオンリーワンと感じていただける商品づくりに努めてまいります。



サッポロホールディングス株式会社 取締役 兼 グループ執行役員 株式会社サッポロビール 代表取締役社長 尾賀 真城

数頂戴しました。ここで一部をご紹介します、担当役員よりお答えいたします。

サッポロインターナショナル



海外展開の戦略はどんなになっているのか。積極的に実施してほしい。

サッポログループでは、北米、アジア、オセアニアを国際事業の戦略エリアと位置づけています。自社ブランドを地域に浸透させ、ブランド力向上を図っていくことを基本戦略として、これらの地域で順調に売上を拡大しています。

これからも、M&Aなどのさまざまな選択肢を検討しながら、着実に成長してまいります。



サッポロホールディングス株式会社 常務取締役 兼 グループ執行役員 持田 佳行
サッポロインターナショナル株式会社 代表取締役社長

ポッカサッポロフード&ビバレッジ



ポッカサッポロ自販機の数が少ない。

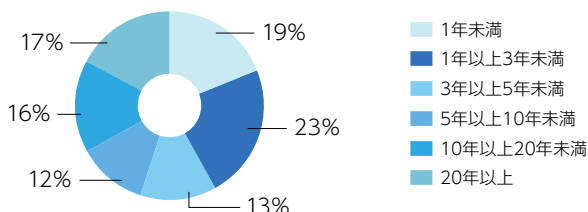
飲料市場は自販機の設置可能な場所が飽和状態にあり、各社が設置先の獲得で日々競合する厳しい状況にあります。自販機は当社にとって大変重要な販売チャネルと位置づけています。設置先の採算性も考慮しながら、営業活動量の増加と設置先への提案内容の質的向上の両面から営業力の強化に一層努め、優良な設置先を増やしてまいります。



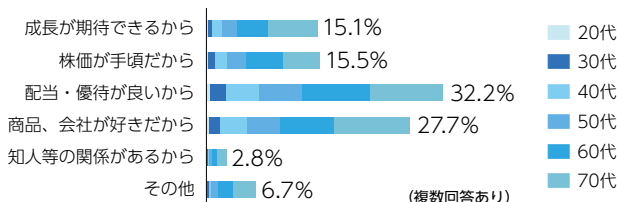
サッポロホールディングス株式会社 取締役 兼 グループ執行役員 堀 雅寿
ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社 代表取締役社長

ご回答者様データ

保有年数



サッポロホールディングスの株式を購入・所有した理由



本年の株主アンケートでは、総計10,090通ものご回答をいただきました。皆様からの貴重なご意見・ご要望を参考にさせていただき、今後のIR・SR活動のさらなる充実に向け、取り組んでまいります。

世界 No.1 ラム バカルディ 新作カクテルデビュー

2011年10月より販売を開始したバカルディの商品は、「サッポロビール」の販売網と「バカルディ」の強力なブランド力で順調に売上を伸ばしています。

中でも、2012年4月に販売を開始した「バカルディ モヒート」は、モヒートブームの先駆者として大きな市場を構築しました。2013年7月に発売した「ピニャ コラダ」に続き、10月2日には、「ストロベリーダイキリ」も発売予定。いずれも、栓を開けてすぐ飲める“RTD”、グラスに注いでソーダなどを入れるだけの“RTS”の2種類を取りそろえています。ますます広がるバカルディの世界をお楽しみください。



お客様参加型 ビール開発プロジェクト 「百人ビール・ラボ」 第2弾開始

「百人ビール・ラボ」は、お客様とFacebookやWebサイトで意見を出し合いながら、新しいビール開発を行うプロジェクト。2012年に実施した第1弾は、のべ12,000名のビール愛好家と「百人のキセキ」を共同開発し、大変好評をいただきました。7月19日より開始した第2弾は、「みんなでつくるビールの未来!」をテーマに、開発部門に眠っていたアイデアにお客様の意見を結集して、新しいビールを開発しています。開発した商品は、サッポロビールのWebショップ「わくわくブルワリー」で販売予定です。今後も、「百人ビール・ラボ」を通じてビールの多様性や楽しみ方を提案し、ビール文化を創造して需要喚起を目指します。



株主の皆様も是非ご参加ください。

「百人ビール・ラボ」
特設Webサイト

<http://100beer.sapporobeer.jp/>

ポッカサッポロのスープ商品

ポッカサッポロフード&ビバレッジの前身であるポッカコーポレーションは、1980年に缶入りスープを初めて開発し、それ以来、他社に先駆けてコーンの粒を加えるなどユニークなアイデアと技術で数々の商品を発売してきました。現在は、「じゅくりコトコト」ブランドを中心に、本場韓国の味を追求した「韓湯美味」、アソートタイプの「いろいろすーぶ」、毎日手軽に楽しめる「笑顔で朝食」などを展開しています。これからも多様化するお客様のニーズや食シーンを想定し、それぞれのお客様に“おいしい「! (ひらめき)」”をお届けしていきます。



**2013秋冬の
主な商品**

**じゅくり
コトコト**

シリーズも
あたらしく!



「じゅくりコトコト」はとろ〜り・濃厚・具たくさん、大人も満足するワンランク上のインスタントスープとしてご評価いただいています。今秋には、独自開発の「フィッシュブイヨン」で繊細なおいしさをさらに引き立たせた「クラムチャウダー」や、家庭では作れないおいしさを実現させた「牡蠣のポタージュ」などを新たに発売いたします。大人がほっとくつろぐときに飲むスープとして、さらに濃厚とろ〜りなおいしさに進化した「じゅくりコトコト」シリーズ。是非味わってみてください!



ポッカサッポロフード&ビバレッジ
戦略企画本部 スープ・食品戦略部
小笠原千春

ビヤホール文化を世界へ!

「銀座ライオン」海外1号店を シンガポールに10月オープン予定

サッポロライオンの子会社 SAPPORO LION (S) PTE. LTD. は、2013年10月2日、シンガポールに「銀座ライオン」の海外1号店「GINZA LION BEER HALL」を開店します。

サッポロライオン伝統の「一度注ぎ」による徹底した品質管理の生ビールとオープンキッチンで焼くグリル料理、日本のおもてなしの心を感じるサービスを提供し、「ビヤホール」の楽しさを発信していきます。観光名所からのアクセスも大変良く、また店内も、重厚な

雰囲気でありながらスタイリッシュな造りとする予定です。

現地の方々や在住日本人・欧米人の方々から親しまれる店づくりを目指し、シンガポールを拠点に今後も店舗展開を進めていきます。

「ビヤホール」は実は和製英語。「ビヤパブ」「バー」などの類似店は世界に多数ありますが、「日本が育てたビヤホール文化」の楽しさを世界の皆さんに伝えていくことが目標です。

GINZA LION BEER HALL 支配人
縄田能道

店名：GINZA LION BEER HALL
住所：8 Rodyk st. #1-01/02

新たな取り組みとしてシェアハウス 「シェビア恵比寿」をオープン

本年2月、恵比寿ガーデンプレイス近くの所有ビルの住宅部分をシェアハウスにリノベーションした「シェビア恵比寿」がオープンしました。シェアハウスとは、入居者それぞれにプライベート空間としての居室がある一方、広めのキッチンやリビング、充実した共用設備が利用可能な新しいタイプの賃貸住宅です。住空間をシェアすることで入居者間に自然な交流が生まれやすく、若い世代を中心に人気が高まっています。当社初の試みでしたが、すでに満室稼働（全32戸）となっています。

担当者より一言

オープンより高稼働を維持しており、シェアハウスへのリノベーションが非常に良い選択であったと考えています。



サッポロ不動産開発
アセットマネジメント部
堤 真人



★ Facebook「北海道 Likers」が「地域賞」を受賞

サッポロビールが運営する Facebook ページ「北海道 Likers」は、北海道の名物・特産品や景勝地などの情報や魅力を、写真や動画などを通じて発信しています。2012年4月の開設からわずか3か月で閲覧者は10万人を突破。7月に英語版、8月には中国語版も開設され、今では日本語版が22万人、英語版が34万人、中国語版が27万人（2013年7月16日現在）のファンに支持されています。

この取り組みが高く評価され、2013年5月、公益社団法人日本マーケティング協会が表彰する「第5回日本マーケティング大賞」において「地域賞」を受賞しました。



★ 豊田市と「共働によるまちづくりパートナーシップ協定」を締結

2013年5月22日、豊田市とポッカサッポロフード&ビバレッジ、サッポロホールディングスの3者は「共働によるまちづくりパートナーシップ協定」を締結しました。本協定は、豊田市にとっての「まちづくり」とポッカサッポロの「ファンづくり」双方につながる事業を共に推進することを目指して、「子ども・青少年の育ちを支えるまちづくりに関すること」「安心して健やかに暮らせる地域づくりに関すること」など、6項目にわたって締結されました。

ポッカサッポロフード&ビバレッジの前身であるポッカコーポレーションは、1988年にコーヒー豆の焙煎専門工場として「豊田工場」を建設し、コーヒー製品の品質を支える拠点として今日に至ります。こうした背景から豊田市との連携を強め、共に地域の活性化を図っていききたいとの思いから、今回の協定締結に至りました。



★ 「手のひらに太陽の家」プロジェクトへ寄付

サッポロビールは、2012年に東北限定で販売した「サッポロ生ビール黒ラベル 東北夏祭り缶」などの売上金の一部2,005,960円を、宮城県登米市で実施されている復興共生住宅「手のひらに太陽の家」プロジェクト（主催：NPO 法人日本の森バイオマスネットワーク）へ寄付しました。

東北産の木材と自然エネルギーを活用した同住宅は、2012年7月に完成し、現在、保養滞在を目的とした福島県の親子を中心に受け入れており、復興のモデルとなることを目指しています。

今後もサッポロビールでは、被災地復興に向け積極的に協力していきたいと考えています。



★ 株主優待制度を通じた東北復興支援

サッポロホールディングスは、株主優待制度を通じて株主様からお寄せいただいた寄付金に、当社からの同額の寄付を合わせた計3,268,000円を、一般社団法人被災地ネットワークPLUSに寄付しました。

被災地ネットワークPLUSは、東日本大震災の被災地域間の相互連携により、産業再生、地域活性化に寄与することを目的に設立された団体で、津波による塩害の影響を受けた三陸沿岸の森林資源を活用する事業などを行っています。

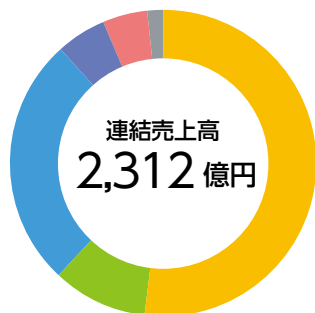
今回の寄付金で、津波被害により変色し、建築用材として活用できなくなった陸前高田市・南三陸町の杉を野球グラウンド整備道具のトンボに再生し、被災地の小中学校に800本を寄贈します。

ご協力いただいた株主の皆様ありがとうございました。



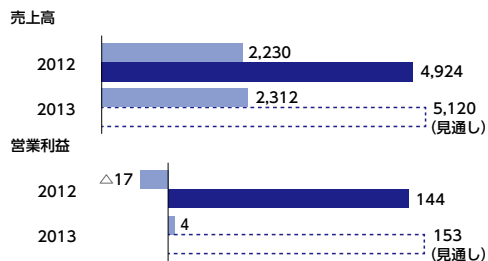
事業の概況

2013年度第2四半期 セグメント別売上高構成比



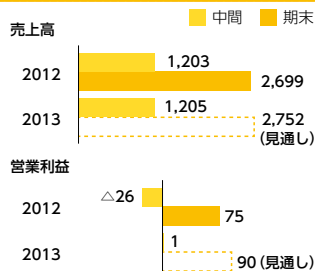
※当冊子の表記について：収益関連数値については、
期初からの「累計値」を用いています。

国内酒類事業	1,205 億円 (52.1%)
国際事業	230 億円 (10.0%)
食品・飲料事業	607 億円 (26.3%)
外食事業	126 億円 (5.4%)
不動産事業	110 億円 (4.8%)
その他事業	31 億円 (1.4%)

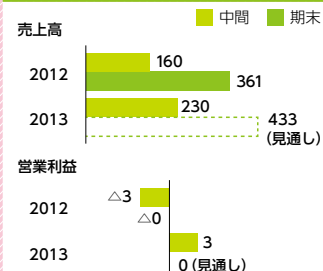


(単位：億円)

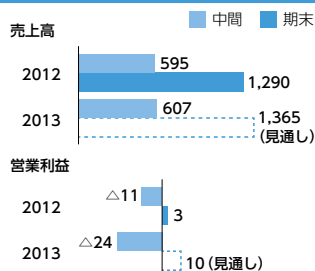
国内酒類事業



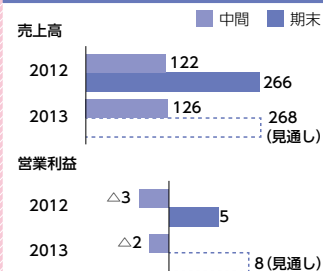
国際事業



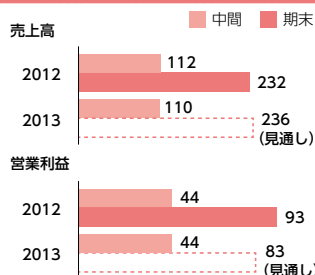
食品・飲料事業



外食事業



不動産事業



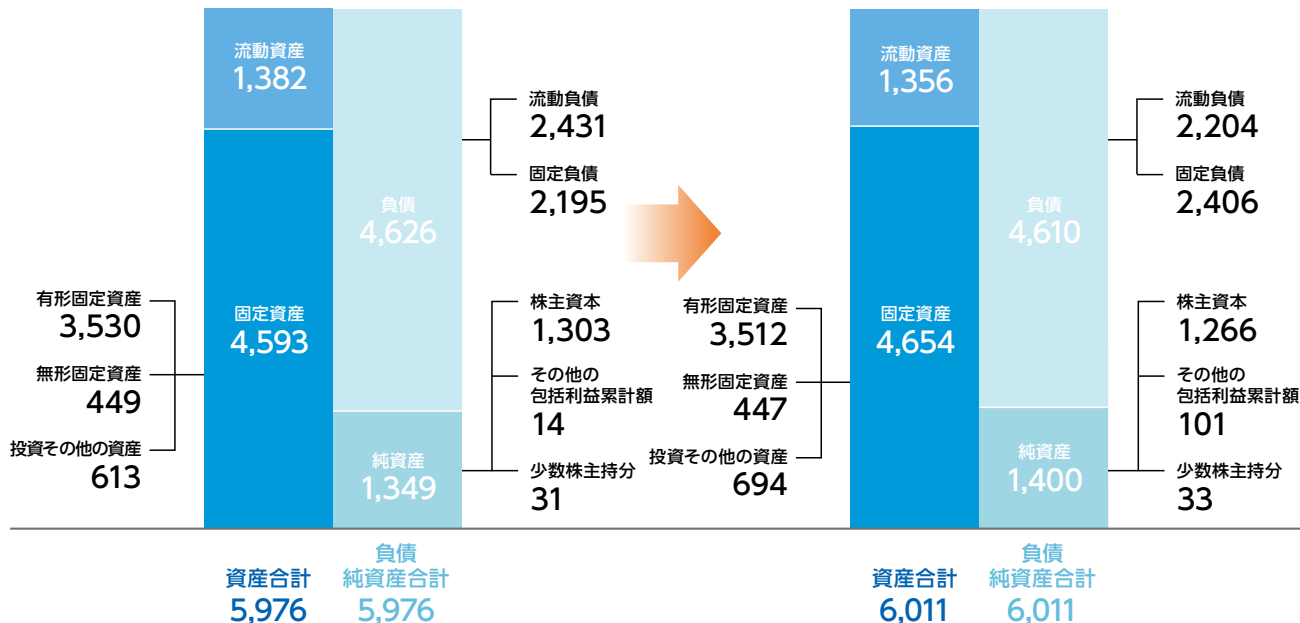
※ 2013 年度から、従来「国内酒類事業」に区分しておりました「サッポロ流通システム(株)」および従来「食品・飲料事業」に区分しておりました「(株)ポッカロジスティクス」を「その他」に変更しています。
また、従来「食品・飲料事業」に区分しておりました「POKKA FOOD(SINGAPORE)PTE. LTD.」を「外食事業」に変更しています。
※ 2012 年度のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しています。
※ 国際事業の営業利益には、ベトナム市場構築のための先行費用が織り込まれています。

連結決算概要

■ 中間連結貸借対照表の概要 (単位：億円)

前期末(第 89 期)
(2012年12月31日現在)

当中間期末(第 90 期)
(2013年6月30日現在)



総資産

☑ 受取手形及び売掛金の減少等があった一方、商品及び製品、投資有価証券の増加等によって、前期末と比較して34億円増加し、6,011億円となりました。

負債

☑ 長期借入金、受入保証金の増加等があった一方、短期借入金、未払酒税の減少等によって、前期末と比較して16億円減少し、4,610億円となりました。

純資産

☑ 期末配当の実施による利益剰余金の減少等があった一方、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の増加等によって、前期末と比較して51億円増加し、1,400億円となりました。

■ 中間連結損益計算書の概要 1月1日～6月30日 (単位: 億円)

	第90期 (当中間期)	第89期 (前中間期)
売上高	2,312	2,230
売上総利益	817	806
営業利益 (△は損失)	4	△ 17
経常利益 (△は損失)	3	△ 24
税金等調整前四半期純利益 (△は損失)	31	△ 39
四半期純利益 (△は損失)	1	△ 29

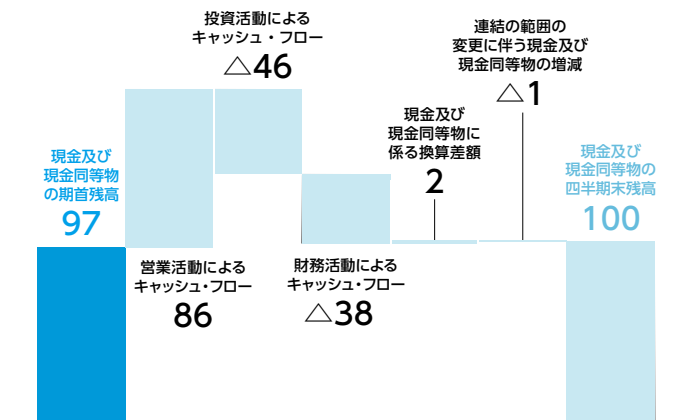
売上高・営業利益

☑ 国際事業では北米およびベトナムにて売上数量が、外食事業では既存店売上高が、それぞれ前年同期を上回ったことに加え、前年に国際事業で連結子会社となったアメリカのPBチルド飲料メーカー・シルバー スプリングス シトラス社の損益項目の連結開始が前年4月以降であったこと、食品・飲料事業でポッカ エース マレーシア社の損益項目の連結を1月より開始したことなどにより、大幅な増収となりました。

営業損益は、国内酒類事業で販売費が減少したことや、国際事業の北米およびベトナムでの増収により、大幅な増益となりました。

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書の概要 1月1日～6月30日 (単位: 億円)

当中間期(第90期)



キャッシュ・フロー

☑ 営業活動によるキャッシュ・フローは、86億円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の増加や売上債権の減少等の増加要因によるものです。投資活動によるキャッシュ・フローは、46億円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出等によるものです。財務活動によるキャッシュ・フローは、38億円の支出となりました。これは主に、金融負債の返済による支出や配当金の支払いによるものです。

詳細は当社ホームページをご覧ください。

🔍 サッポロ IR

検索

会社概要

商号	サッポロホールディングス株式会社 SAPPORO HOLDINGS LIMITED
設立	1949年9月1日(創業明治9年)
資本金	53,886,649,941円
事業内容	持株会社
連結対象会社数	55社(連結子会社51社、持分法適用会社4社)
本社	〒150-8522 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番1号 (恵比寿ガーデンプレイス内)

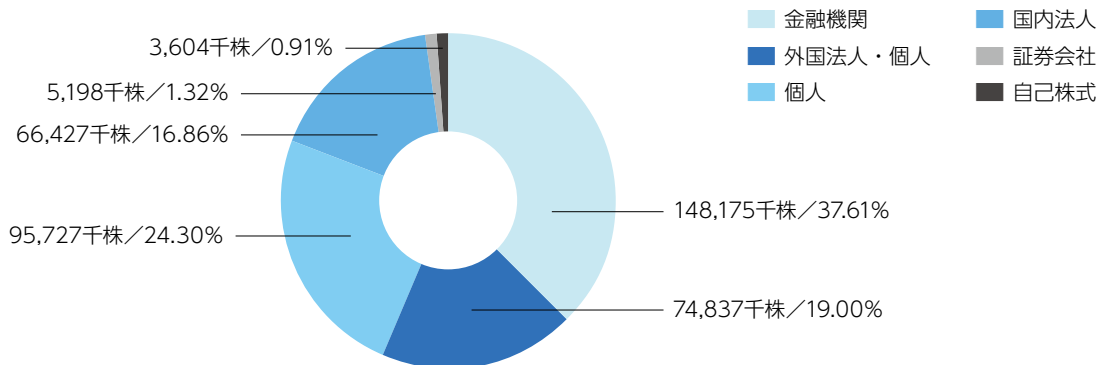
株式の状況

発行済株式総数……393,971,493株
株主数……59,389名

大株主(上位10名及びその状況)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	17,688	4.49
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	15,545	3.95
資産管理サービス信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ信託銀行口	12,212	3.10
日本生命保険相互会社	11,732	2.98
明治安田生命保険相互会社	10,572	2.68
農林中央金庫	9,375	2.38
株式会社みずほコーポレート銀行	8,698	2.21
丸紅株式会社	8,246	2.09
大成建設株式会社	7,000	1.78
ビービーエイチ オープンハイマー インターナショナル バリューフアンド	5,531	1.40

所有者別株式分布状況



株主情報

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
配当金受領の株主確定日	12月31日及び中間配当を実施するときは6月30日
定時株主総会	3月
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京(第一部)、札幌
証券コード	2501
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 (フリーダイヤル) 0120-288-324 (ご利用時間:土・日・休日を除く 9:00 ~ 17:00) 専用ホームページ“お手続き内容”で一部届出用紙の出力ができます。 http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/
公告方法	電子公告により行い、公告掲載場所は当社のホームページ http://www.sapporoholdings.jp/ といたします。 ただし、やむを得ない事由により、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
特別口座	特別口座とは、株券電子化前に証券会社等に口座を開設し、証券保管振替機構に株券を預託されなかった株主様の権利を保全するために、当社が上記のみずほ信託銀行株式会社に開設した口座のことをいいます。

ホームページのご案内

<http://www.sapporoholdings.jp/>

当社のホームページでは株主の皆様に対して、IR情報や決算情報をはじめとした情報開示を行っていますので、是非ご利用ください。

また、当ホームページから各事業会社のホームページサイトへ入ることができます。



株式事務に関するご案内

証券会社でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社
お手続き内容	住所変更、氏名・名称・代表者変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等

特別口座に記録されている株式をお持ちの株主様

お手続き お問い合わせ先	<特別口座の口座管理機関> 左記の株主名簿管理人(みずほ信託銀行株式会社証券代行部) <取次所> みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 ※トラストラウンジでは、お取扱できませんのでご了承ください。 みずほ証券株式会社 本店、全国各支店及び営業所 ※カスタマープラザでは、お取扱できませんのでご了承ください。 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
お手続き内容	住所変更、氏名・名称・代表者変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等

特別口座での留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社にお取引の口座を開設し株式の振替手続きが必要となります。 ※単元未満株式の買取・買増請求は特別口座のままでも可能です。詳しくは、左記の株主名簿管理人(みずほ信託銀行株式会社証券代行部)にお問い合わせください。
------------	---

※未払配当金のお支払いにつきましては、両株主様ともに上記の取次所が承ります。
※未払配当金のお支払いのうち、配当金領収証でのお受け取りにつきましては、上記取次所に加え、株式会社みずほ銀行の本店でも承ります。

CM
of SAPPORO

サッポロ
極ZERO

「たまあ〜ぞ」の三村マサカズさんと女優の桐合美鈴さんをCMキャラクターに起用した新ジャンル「サッポロ 極ZERO」。第一弾「心配ごとゼロ」篇は発売時から、第二弾「世界初の新ジャンル」篇は7月中旬から放映されています。桐合さんの「プリン体ゼロ」、さらに「糖質もゼロ」の説明に、三村さんとプリン体が気になる人々が見せる、極ZEROを気兼ねなく「コップ」飲める幸せと、心配事から解放された喜びの表情に「注目」してください。



商品 紹介

世界初!プリン体ゼロ!“極ZERO”新発売

2013年6月19日に発売した新ジャンル「サッポロ 極ZERO」は、「世界初!プリン体0.00 (注1)」「糖質0 (注2)」といった2つの機能を極め、爽快なうまみとすっきりした後味を実現しました。この商品は当社機能系新ジャンルにおいて最速となる100万ケース(大びん633ml×20本換算)を突破する好調な販売状況を受け、本年の販売目標を220万ケースから300万ケースに上方修正しました。今後も「サッポロ 極ZERO」に注目ください。

(注1) アルコール入りビールテイスト飲料において世界で初めて100ml当たりプリン体0.00mgを実現した商品です。(当社調べ)
(注2) 栄養表示基準に基づき、100ml当たり糖質0.5g未満を「糖質0(ゼロ)」と表記しています。



発行者：サッポロホールディングス株式会社
〒150-8522 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番1号(恵比寿ガーデンプレイス内)